



発 表 資 料	
平成 2 9 年 4 月 1 4 日	
担 当 課	校 区 審 議 室
電 話 (内 線)	20-3089 (5155)

鹿野地域小中一貫校

新学校名(案)の 決定について



平成30年4月の開校を目指している鹿野小学校、鹿野中学校を統合した小中一貫校について、新しい学校名の案が4月12日に決定しました。

1 今回決定した学校名の案

「鳥取市立 しかのがくえん 鹿野学園」

【選定理由】

「鹿野」の名前を大切にし、小学校と中学校が一体なることをシンプルに表した、誰もが呼びやすく親しみが持てる名前であるため。

2 選定経過

① 校名案の募集

期 間：平成29年2月1日～平成29年2月28日

対象者：市内にお住まいの方または、鹿野町に「ゆかり」のある方

結 果：応募件数 318件 <参考>応募学校名の総数206点(重複を除く)

[鹿野町52件、市内(鹿野町除く)27件、県内(鳥取市除く)3件、県外1件、
鹿野小155件、鹿野中80件]

② 校名案の選考

【第一次選考】

鹿野地域小中一貫校推進委員会 鹿野の宝応援部会(3月13日)

* 応募のあった中から、5つの候補名称を選定。

【第二次選考】

鹿野地域小中一貫校推進委員会(3月22日)

* 一次選考の5候補と、二次選考で加えた1候補の中から、3つの候補名称を選定。

【決定】

深澤義彦市長により、「鳥取市立 鹿野学園」を案として決定。(4月12日)

【参考資料】

<これまでの経緯>

○平成25年1月

「第11期鳥取市校区審議会中間とりまとめ」で、鹿野中学校において学校のあり方の協議が必要であると判断される。

○平成26年5月

自治会、まちづくり協議会、小・中学校、保育園の職員及び保護者などからなる「鹿野地域の教育を考える会」を設立する。

○平成26年8月～9月

中学生以上を対象に、全住民アンケートを実施する。

○平成27年9月

アンケート結果を踏まえた検討がなされ、「鹿野地域の教育を考える会」より、「学校の形態は校舎分離型の小中一貫校、運営はコミュニティ・スクール、地域独自の教科を導入する。」という要望書が市長、教育長に提出される。

○平成27年11月

「鹿野地域の学校のあり方」について、校区審議会より答申される。

【校区審議会答申の概要】

1. 鹿野地域に、新たな小中一貫校を設置する。

[付記]

- (1) 鹿野小学校、鹿野中学校を統合して、新たな小中一貫校を設置する。
- (2) 一貫校の設置は、慎重に検討した上で適切な時期に実施する。
- (3) 「鳥取市版コミュニティ・スクール（地域創造学校）」の指定を行う。
- (4) 「小規模校転入制度」を導入する。
- (5) 教育情報環境の整備を進める。
- (6) 地域振興にも留意する。

○平成27年11月

鳥取市教育委員会において、方針を決定し、「鹿野地域の教育を考える会」への報告及び説明会を実施。

○平成28年6月

「鹿野地域小中一貫校推進委員会」が組織され、開校に向けた協議が開始される。

○平成28年12月

「鹿野地域小中一貫校推進委員会」より、教育長へ中間報告がなされる。

【鹿野地域小中一貫校推進委員会中間報告の概要】

- ・施設分離型の義務教育学校を目指すこと
- ・平成30年4月1日開校を目標とすること
- ・鹿野地域小中一貫教育ビジョン・経営ビジョン
- ・ブロック制（5・4制）の導入
- ・新設教科「表驚科（あらわしか）」の導入

<検討組織>

- 鹿野地域小中一貫校推進委員会（地域代表6名、保護者代表6名、学校園代表8名）
 - ・すごい！学校創造部会・・・小中一貫教育ビジョンの策定、教育課程の編成等
（地域代表2名、保護者代表3名、学校園代表5名）
 - ・鹿野の宝応援部会・・・地域住民への説明、各種媒体での啓発活動、
施設・設備の検討、校名・校歌等の策定等
（地域代表4名、保護者代表3名、学校園代表3名）